

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-29	高等学校	商業	ネットワーク活用	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 749	ネットワーク活用		

1. 編修の基本方針

- (1) 幅広い知識と教養を身に付けられるように、学習要素をもれなく扱った。
- (2) ネットワークや情報通信技術と職業や生活との関連がわかるように、できる限り身近な事例や学校のW e bショップなどをテーマとして扱った。
- (3) 主体的に社会の形成および発展に参画できるように、実践的にW e bショップを開店、運営する実習を扱った。
- (4) 自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うため、社会や環境に貢献できる内容も扱った。
- (5) 例題や問題などでは、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を育める題材を扱った。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	・情報やネットワークといったI C Tの進化や活用される場面を、教養として取りあげた(第1号)。	p. 6~13
	・W e b上での責任を自覚するため、法規やガイドラインを幅広く扱った(第3号)。	p. 14~25
	・幅広い知識を身に付け、真理を求める態度を養うため、探究問題では調査・分析・考察の項目を設けた。(第1号)	p. 26
第2章 情報コンテンツの制作	・実社会で利用されている題材を例示し、情報コンテンツと職業や生活とのつながりを連想できるようにした(第2号)。	p. 28, 38
	・個人の能力を伸ばし、創造性を培えるように例題や練習問題を豊富に扱った(第2号)。	p. 31~37, p. 42~51

	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の制作にあたり，生命を尊 び，自然を大切にすることを養う題 材を扱った（第4号）。 	p. 62～69
<p>第3章 企業情報の発信とWebデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で全体の流れを示したう えで，章を通してWebページの制 作について順を追って学べる構成 とした（第1号）。 ・アクセス数などの企業活動に必 要な視点や，コラムとして社会で 活用されている技術を扱うこと で，勤労を重んずる態度を養 う（第2号）。 ・公共の精神に基づき，年齢や障 がいの有無などの，多様な環境に 対応できるよう配慮したデザイン やレイアウト，色彩などを扱った （第3号）。 ・多様な方法でWebサイトを作 成できることを示し，ソフトウェ アやネットワークなどの環境によ って適切な方法を学べるよう配慮 した（第2号）。 ・探究問題を通して，身近な課題 を考えさせるとともに創造性や自 主・自立の精神を養う（第2 号）。 	<p>p. 72～75</p> <p>p. 76～79</p> <p>p. 80～91</p> <p>p. 92～137</p> <p>p. 138</p>
<p>第4章 インターネットと情報セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教養として，ネットワークのし くみや活用方法を習得できるよ うにした（第1号）。 ・ネットワークに関する技術を幅 広く扱い，知識を習得する（第1 号）。 ・セキュリティに関する知識を学 び，脅威とその対策を習得するこ とで，Web上での責任感を養 う（第3号）。 ・探究問題では，インターネット の歴史や関連技術の変遷を調べさ せることによって，我が国および 他国の技術者を尊重する態度を養 う（第5号）。 	<p>p. 140～147</p> <p>p. 148～162</p> <p>p. 163～167</p> <p>p. 168</p>

<p>第5章 電子商取引とビジネス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活用した取引について学ぶことで、職業および社会との関連や、社会における電子商取引の重要性を認識できるようにした（第1号）。 ・自然環境の保全や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、SDGsや認証ラベルについて扱った（第4号）。 ・電子商取引システムの構築を通して、実践的に模擬取引を行うことにより、勤労を重んずる態度を養う（第2号）。 ・実習では、郷土を愛するとともに他国の食文化も尊重できるような商品を題材とした（第5号）。 ・ビジネスの動向を学習し、新しいビジネスモデルの創造について考えることで、主体的に社会の形成および発展に寄与する態度を養う（第3号）。 	<p>p. 170～185</p> <p>p. 186～187</p> <p>p. 200～239</p> <p>p. 211</p> <p>p. 244～247</p>
<p>巻末資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Webショップに関するさまざまな表記を例示することで、生産者と消費者の責任について考えさせる（第3号）。 	<p>p. 249～253</p>
<p>見返し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークと新しいビジネスのかたちを示すことで生徒の興味・関心を惹いて、意欲的に学習へ取り組めるようにした（第2号）。 ・Webで使用される色彩や、HTMLおよびCSSを一覧表示で扱い、教養として参照できるようにした（第1号）。 	<p>見返し1, 2</p> <p>見返し3, 4</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- (1) ビジネスに携わる者としての視点や資質を養えるように、電子商取引に関連した内容だけに特化せず、社会的な動向や技術の発展、新しいビジネスのかたちなどを関連する各所で扱った。
- (2) 将来の進路を意識させ、専門的な知識、技術および技能を習得できるよう、実践的な題材を用いて実習を構成した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-29	高等学校	商業	ネットワーク活用	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 749	ネットワーク活用		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ネットワーク活用」は商業に関する学科の科目であり、従前の「電子商取引」の指導項目を再構成したものである。よって、主に3年次での履修が想定される。一方で、情報処理系の学科などでは2年次での開講も考えられるため、ネットワークやセキュリティに関する項目は基礎的な知識も扱った。

- (1) 「1章1節 ICTにより創造される新しいビジネス」では、情報通信技術の活用例などを取り上げ、ビジネスとの関連性について考察できる内容とした。「1章2節 個人情報と知的財産の保護」および「1章3節 関連法規とガイドライン」では、ネットワークを活用したビジネスを行うにあたって注意すべき法規等を扱った。
- (2) 「2章1節 図形と静止画」では、Webページにおけるイラストやロゴ、写真等のファイル形式や効果的な活用法について取り上げ、情報コンテンツの制作および編集について実習形式で扱った。「2章2節 音声と動画」では、音声や動画の基礎的な知識とファイル形式について取り上げ、企業情報の発信につながる動画制作について実習形式で扱った。
- (3) 「3章 企業情報の発信とWebデザイン」では、「(4) ア ウェブページの制作とデザイン」および「(4) イ 企業情報の発信」を主に扱い、学習指導要領の項目に沿ってシステム開発の流れを習得できるよう構成した。Webページの制作においては、タグの直接入力による方法、CSSおよびスクリプトを用いた方法、Webページ作成ソフトウェアを用いた方法、CMSのサービスを用いた方法のうちから、各学校のネットワーク環境や学習進度、生徒の興味・関心などに合わせ、組み合わせで選択できる構成とした。
- (4) 「4章 インターネットと情報セキュリティ」では、ネットワークを用いた商取引の実習をする前に必要な知識を扱うため、学習指導要領の「(イ) インターネットと情報セキュリティ」を4章にて取り上げた。「4章1節 インターネットのしくみ」では、インターネットの基礎知識と電子商取引、インターネットサービスプロバイダについて扱った。「4章2節 ハードウェアとソフトウェアの導入」では、ネットワークやサーバ、ドメインに関する知識を扱った。「4章3節 情報セキュリティの確保」では、情報セキュリティに関する脅威とその対策について扱った。
- (5) 「5章 電子商取引とビジネス」では、「(4) ウ 電子商取引と電子決済」を主に扱った。ネットワークを活用した商取引および電子決済、Webサイトの運営に関する知識を取りあげた後、商取引を行うためのWebページを制作する実習を扱った。実習においては、Webページ作成ソフトウェアを用いた方法と、フリーソフトウェアを用いた方法から、各学校の環境によって選択できる構成とした。

(6) 実習に関する部分は、例題を中心に取り上げて説明するようにした。「2章 情報コンテンツの制作」では、例題をもとに技術を習得できるように練習問題を配置した。各章末には、本文中で扱った知識を確認する章末問題および、調査・考察させたりグループワーク等に利用できる問いかけを行う探究問題を設置した。

(8) 巻末には、「5章 電子商取引とビジネス」の文面の参考となる資料を掲載した。また、QRコードで関連法案へアクセスできるリンクを示した。

(9) 見返しでは、生徒のネットワークを活用した商取引に関する興味を喚起するため、新しい技術を紹介するとともにこれからの展望を示した。また、Webページの制作において有用な知識を扱い、本書で作成するコンテンツについて参照ページ数とともに一覧として掲載した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 情報通信技術の進歩と ビジネス	(1) 情報技術の進歩とビ ジネス	p. 6 ～	(10)
1節 ICTにより創造される 新しいビジネス	ア ビジネスの変化	p. 26	2
2節 個人情報と知的財産の 保護	イ 個人情報と知的財産の 保護		4
3節 関連法規とガイドライン	ウ 関連法規とガイドライン		4
第2章 情報コンテンツの制作	(3) 情報コンテンツの制作	p. 28	(18)
1節 図形と静止画	ア 図形と静止画	～	10
2節 音声と動画	イ 動画と音声	p. 70	8
第3章 企業情報の発信と Webデザイン	(4) インターネットの活用	p. 72 ～	(32)
1節 Webページの制作と デザイン	ア ウェブページの制作と デザイン	p. 138	12
2節 Webページ制作の基礎	イ 企業情報の発信		10
3節 Webページ制作の応用	ウ //		10
第4章 インターネットと情報 セキュリティ	(2) インターネットと情報 セキュリティ	p. 140 ～	(12)
1節 インターネットのしくみ	ア インターネットの仕組み	p. 168	4
2節 ハードウェアとソフト ウェアの導入	イ ハードウェアとソフト ウェアの導入		6
3節 情報セキュリティの確保	ウ 情報セキュリティの確保		2

第5章 電子商取引とビジネス	(4) インターネットの活用	p. 170	(33)
1節 ネットワークを用いた ビジネスと電子決済	ウ 電子商取引と電子決済	～	8
2節 電子商取引サイトの開店 準備	〃	p. 248	6
3節 W e b ページ制作と集客 方法	〃		16
4節 ビジネスの創造	エ ビジネスの創造		3
		計	105